

## 【水道事業・下水道事業共通の主な取組】

### 環境施策の推進

#### 地球温暖化対策・エネルギー対策

温室効果ガスの削減による地球温暖化対策、創エネ、省エネ、蓄エネといったエネルギー対策に取り組むとともに、処理過程で発生した汚泥等の有効活用を推進します。



地形の高低差を利用し、消費電力の少ない環境にやさしくみで水道水をお届けしています。



等々力水処理センターの高度処理水を江川せせらぎ水路の水源とし、水辺周辺環境の回復に活用しています。

### 経営基盤の強化

#### お客さまサービスの充実

広報・広聴を充実することにより、お客さまのニーズを的確に把握し、サービスの向上を図ります。

#### 経営の健全化

将来に渡って持続可能な上下水道事業の経営を行うため、組織機構及び職員定数の見直し、資産の有効活用、企業債残高の適正管理などを進めることにより経営基盤の強化を図ります。

経営企画課 ☎ 044-200-3182 ㊚ 044-200-3982

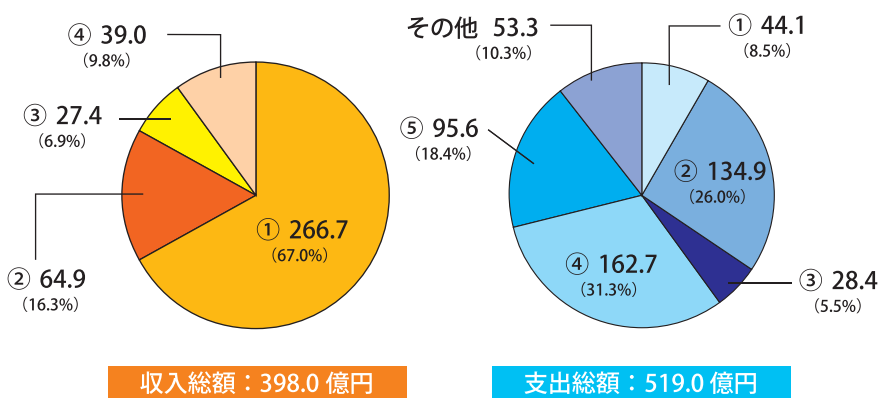
# 平成 26 年度予算

→ 上下水道局のお財布事情をご紹介します **¥**

## ➡ 水道事業

水道事業は、市民生活や都市・産業活動に欠かせない基幹施設として、いつでも安全で良質な水を安定的に供給し、また、渇水や災害時にも対応できる強い水道施設を構築するため、施設の維持管理、整備、改良を行うための費用が多くなっています。一方、人口の増加があるものの、節水型社会構造への変化などから水道料金収入は微減傾向にあります。平成 26 年度予算は、再構築計画や中期計画などにに基づき、水道の「安定給水の確保と安全性の向上」を図るために必要な予算を計上するとともに、退職給付引当金等の計上など、新しい地方公営企業会計基準を適用しています。

### ② 水道事業における収入総額と支出総額 (税込み額 / 単位: 億円)



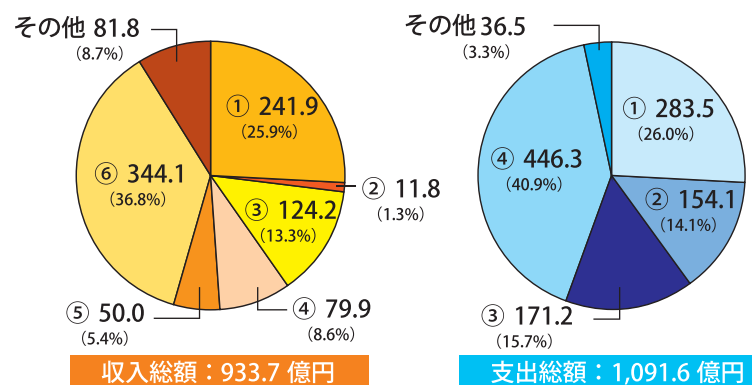
収支不足額については、損益勘定留保資金等で対応します。

収入	支出
① 水道料金	① 原水をダムなどから浄水場まで運び、水道水にするための費用
② 東京都からの分水負担金など	② 水道水を浄水場からお客さままで配る費用
③ 災害対策事業に対する補助金など	③ メータ検針、料金徴収などの営業に関する費用
④ 水道施設の整備・改良のための借入金	④ 施設の建設・改良・耐震化などにかかる費用
	⑤ 神奈川県内広域水道企業団からの受水にかかる費用

## ➡ 下水道事業

下水道事業は、都市基盤施設としての下水道機能の維持向上を図るための維持管理と更新、建設整備を行う一方、事業運営の効率化を努めてきましたが、過去の建設投資の影響により、いまだ企業債未償還残高は高い水準にあるなど、依然として厳しい財政状況となっています。平成 26 年度予算は、中期計画に基づき、将来に渡って持続可能な下水道サービスを提供するために必要な予算を計上するとともに、退職給付引当金等の計上など、新しい地方公営企業会計基準を適用しています。

### ② 下水道事業における収入総額と支出総額 (税込み額 / 単位: 億円)



収支不足額については、損益勘定留保資金等で対応します。

収入	支出
① 下水道使用料	① 汚水処理にかかる費用
② 汚水処理にかかる一般会計負担金など(福祉施設に対する減免等)	② 雨水の排除などにかかる費用
③ 雨水処理等にかかる一般会計負担金など	③ 下水道施設の整備・更新のための費用
④ 下水道施設の整備や元金償還にかかる一般会計出資金など	④ 施設の整備などのため借入した企業債の元金償還金
⑤ 下水道施設の整備にかかる国庫補助金	
⑥ 下水道施設の整備及び企業債の償還にかかる借入金	

財務課 ☎ 044-200-3106 ㊚ 044-200-0376